



イヌタデ

見沼自然散策

2023.10.28



コガモ

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



マユミ



カラスウリ

◆実りの季節。木々が実の存在をカラフルにしてアピール。小鳥が見つけて食べ、種を糞と共に落とす

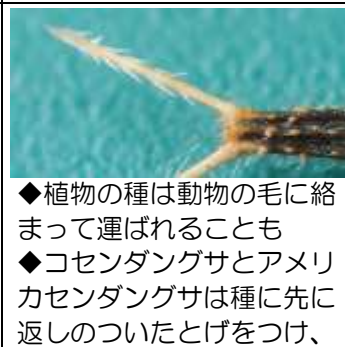
◆見沼の柿は渋柿。渋が強い品種を栽培、夏の青い実をつぶして樽に仕込む。柿渋は防腐・防水性があり、塗料として舟や塀、番傘の撥水などに使った。



渋柿



イノコヅチ



◆植物の種は動物の毛に絡まって運ばれることも

◆コセンダングサとアメリカセンダングサは種に先に返しのついたとげをつけ、引っかかるのをまつ



コセンダングサ



アメリカセンダングサ



テングタケ



キツネノロソク

◆キノコが目立つ季節。キノコは植物ではなく菌類。菌類は動物や植物を分解することでエネルギーを得ている生き物で、植物が合成した有機物を分解し無機物に変える。無機物を使って植物が成長、物質の循環が起き、生態系が成り立つ。私たちが生きる基盤ともなっている。



アオサギ



アキアカネ



ナツアカネ

→モズの「キキキキ…」という声は**高鳴き**と呼ばれ秋の風物詩。小さな猛禽ともいわれ、カエルやバツ、トカゲ、時には小鳥も襲う

◆←アキアカネとナツアカネはよく似ている。胸の模様が長くとんがっているのがアキアカネ。ナツアカネは途中で途切れている。また胸も赤くなる。



モズのくちばし



キタテハ

翅を閉じると枯葉模様で目立たない。



キタテハ

◆キタテハは成虫で越冬する。翅をたたんでじっとしていると枯葉のよう

◆ウラナミシジミは秋だけに見られるチョウ。南方で越冬、世代交代を繰り返しながら移動、秋には関東までやってくるが、冬を越すことはできない



ウラナミシジミ